

知識確認問題

～Ⅲ.トラックの構造上の特性～

実施日:令和 年 月 日

氏名: _____

【問題 1】

トラックは、(視点)が高く、手前の路面も良く見えますが、(車間)距離が長く感じ、知らず知らずのうちに(車間)距離をつめてしまい、追突事故の要因となります。また、(重心)も高いため、不安定で横転する確率も高くなります。車高の高さによる事故として、看板などへの接触や衝突を起こしやすくなります。

【問題 2】

車長の長いトラックは、(内輪)差が大きく、左折時に左側方の二輪車等や歩行者を巻き込んでしまう危険があります。また、狭い道路の左折時には、(内輪)差が大きいため、車体がふくらみ、(センターライン)をはみ出して左折するケースが多く危険です。右折時には、車体後部の(オーバーハング)部がはみ出すため、車体後部が後続車に接触することがあり、事故の要因となります。

【問題 3】

トラックは、左側後方の(死角)が大きく、特に、左側方から左後方にかけてはミラーに写る範囲以外はほとんど(死角)となっています。バンボディのトラックなどは、後方はほとんど(死角)となっており、(後退)時の事故の要因となっているため、一旦下車して後方の安全を確認するか、誘導してもらうことが必要です。

【問題 4】

トラックは、車体重量が重く、重心の高いなどの特徴があることから、(スピード)の出しすぎによる影響は大きく、衝撃力や遠心力が大きくなります。衝撃力は(スピード)に比例して大きくなりますが、車両重量の大きいトラックは、衝撃力はさらに大きくなり、重大事故につながります。また、車両重量が重たい、積荷によっては重心が高い場合もあり、(カーブ)では遠心力が強く働くこととなり、横転の危険性が高いといえます。

【問題 5】

連結車両であるトレーラには、車両の制御に重大な影響を与えるトレーラ特有の現象が起こることがあり、特に注意が必要です。急なブレーキなどによりトラクタとトレーラのバランスが崩れた場合などに、双方の連結点で「くの字」の形に折れる現象を(ジャックナイフ)現象といい、トレーラ後輪がロックした場合などに、トレーラ後部がカーブの外側に流れる現象を(トレーラスイング)現象といい、カーブなどでトラクタの前輪がロックした場合などに、トラクタとトレーラが一直線になり、車線をはみ出してしまう現象を(プラウアウト)現象といいます。

出典：自動車運送事業者が事業用自動車の運転者に対して行う一般的な指導及び監督の実施マニュアル（国土交通省）

truck_honpen.pdf (mlit.go.jp)を加工して作成しております。